

337) プールサイドラブ

プールサイドのデッキチェアで きらきら光る海を見ていた
24時間君といた夏 ^{まぶ}眩しいぐらい輝いていた

プールサイドの君の姿は 他の誰より美しかった
白い水着に大きなバスト すらりと長い脚が目だった

プールサイドに濡^ぬれた黒髪 水^{しずく}の滴が光っていたね
僕の一番好きな季節を 君と一緒にここで過ごした

プールサイドで聴^きいたあの歌 今でも耳に響いているよ
デッキチェアでまどろみかけた あの日の夢は幸福だった

プールサイドの風が変わって トパーズ色のワインを注いだ
すぎてゆく夏やがて来る秋 君と僕とに乾杯をした

プールサイドに木の葉が舞って 僕の傍^{そば}には君はいないよ
もうすぐに来るクリスマスイブ 僕はひとりで君を待ってる

プールサイドで交わした約束 僕は今でも信じているよ
クリスマスには世界で一番 素敵な夜をここで過ごすよ

プールサイドの今日は三日月 静かな夜が静に更ける
僕は今でも信じているよ ふたりっきりのクリスマスイブ